

経営改善部門

新潟県南魚沼市 有限会社小澤農場
(代表取締役：小澤 おざわ 実 みのる 氏)



- 経営規模：26ha（水稲18.5ha、スイカ6.3ha、カリフラワー1.2ha、椎茸21万菌床）

(注) 数字は令和元年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ 平成29年に法人経営の「(有)マッシュ小澤」と個人経営を統合して設立した農業法人。魚沼産コシヒカリに加え、地域のブランド品目（八色すいか、八色しいたけ）、カリフラワー等の導入を進め、豪雪地での周年営農による雇用維持と収益性を確保。
- ・ 部門担当制を導入し、代表取締役が経理管理を、長男が全体総括、次男が水稲部門、従業員それぞれが部門担当として役割分担し責任体制を明確化した経営を展開。
また、毎朝のミーティングで進捗状況や作業内容を共有することで作業を効率化。
- ・ 八色すいか産地の中で、大玉すいか・小玉すいかともに地域最大規模で生産。小玉すいかは、法人ブランド「八色小町」として関東圏へ独自販売を行い、収益性を高めている。
- ・ 離農する高齢生産者の農地の受け皿として、年々農地の集積を進め、魚沼産コシヒカリを中心に、地域平均以上の収量を確保。しいたけ生産で生じた廃菌床を水稲の土壌改善に再利用するなど、環境に配慮した循環型農業を実践。
- ・ 各部門それぞれが、産地トップクラスの栽培面積、生産量を誇っており、地域ブランド品目による通年農業の多角化経営として地域のモデルとなっている。